

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 5 月 8 日

事業所名 Sunny Kids(放課後等デイサービス)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	60%	40%	利用人数に合わせて環境設定を行っている	活動スペースが狭いので今後も工夫し安全にすごしていただけるように取り組む
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	人員配置は満たしている	より良い支援が提供できるように状況に応じて人員確保を行っていく
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	90%	10%	玄関や出入りにスロープを設置。フロアにはクッションマットを使用	引き続き状況に応じて対応していく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	80%	20%	ミーティングや会議等で話し合いの場を持ち業務改善に取り組んでいる	引き続きPDCAサイクルを活用しより良いサービスが提供できるようにしていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	アンケート内容を踏まえ業務改善に繋げている	引き続き保護者様の意向やご意見を踏まえ業務改善を行っていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	ホームページにて公表している	引き続きホームページや配布物にて公開していく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	行政書士の先生に定期訪問していただき助言をいただいている	今後も行政書士の先生に定期訪問していただき業務改善に繋げていく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	90%	10%	毎月テーマを決め研修を行っている。外部研修にも参加している	今後も職種に応じて積極的に外部研修に参加し知識、技術の向上に努める
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	利用児童、保護者様のニーズや課題を毎回更新する度にお聞きし作成している	引き続き利用児童、保護者様の意向やニーズをお聞きし、より良い支援計画を作成していく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	アセスメントシートを盛り込んだ利用調査票を活用している	引き続き必要に応じて職員間で話し合いを行いアセスメントツールの見直しを行っていく
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	90%	10%	全職種の意見を聞きプログラムを立案している	引き続き職種間で話し合い、より良いプログラムを立案していく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	70%	30%	職種間で話し合い、固定化にならないように取り組んでいる	職員間で情報を共有し活動プログラムが固定化しないように取り組んで行く
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	30%	70%	職員間で課題を話し合い個々に合った支援を提供するようにしている	重症児が対象ということもあり医療処置が多く課題をきめ細やかに設定し支援できていないことが多い。個々の課題を考え、時間に応じた課題ができるように取り組んで行く
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	90%	10%	個別、集団活動を組み合わせ支援計画を作成している	引き続き個別、集団活動を組み合わせ個々に合った支援計画を作成していく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	事業所独自で当日の処置一覧表、送迎表を用いて確認している	引き続き処置一覧表、送迎表を用いてその日の支援や役割を確認できるようにする
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	90%	10%	その日の気になった事等は職員間で話し合いを行っている。職員用の連絡ノートを活用している	引き続き支援終了後に職員間で話し合いの場を設け情報を共有していく。休みだった職員も情報を共有できるように引き続き連絡ノートを活用する
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	日々の様子は個人日誌を作成し記入している	引き続き個人日誌を活用し支援の検証・改善に繋げていく
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	6か月に一度モニタリング、担当者会議を行い見直しの有無を判断している	職員間で話し合いの場を持ち、必要時はモニタリングを行い見直しの必要性を判断していく
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	80%	20%	集団活動や余暇活動を取り入れ支援を行っている	引き続きガイドラインの総則に沿って支援を行っていく	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児発管、看護師、保育士が参加。PT、OT、STは事前に話を聞き日程が合えば参加。	引き続き専門職が参加し会議を行っていく PT、OT、STとは日程調整が難しいこともあり会議前に個々の情報を確認しておく
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	送迎時に先生方と情報交換を行っている	引き続き学校と情報交換、情報共有を適切に行っていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	80%	20%	保護者様を通じ期間が6か月の医師の指示書を提出していただいている	引き続き指示書の更新の際は保護者様に案内しお願いする。直接主治医と連絡をとることがなかなか難しいため今後は連絡体制を構築できるように努める
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	90%	10%	就学前に関係機関に連絡を取り情報共有と相互理解に努めている	引き続き入所依頼があった際は情報共有と相互理解に努めていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	10%	90%		これまで障がい福祉サービス事業所等から依頼がなかったため情報提供は行えていない。今後は卒業する児童のことを考えこちらから連絡をとり積極的に情報提供を行っていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	必要に応じて連携している。センター主催の研修にも参加させていただいている	引き続き専門機関と連携を図り、助言や研修を受けていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		重心の児童が対象ということもあり中々交流の場を設けることができていない。保護者様より希望があれば今後検討していく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0%	100%		参加できていない。参加する機会があれば今後は参加していきたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡票を用いて情報共有を行っている。送迎時にも保護者様と直接お話し情報共有を行っている	引き続き事業所での様子や状態を連絡帳に記載していく。送迎時も保護者様と直接お話し情報共有に努めていく
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	10%	90%		行えていないのが現状なのでペアレントトレーニングを行えるように研修に参加し支援を行えるようにしていく	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に重要事項説明書、契約書を用いて丁寧に説明している	引き続き重要事項説明書、契約書を用いて丁寧に説明を行っていく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	相談があった際は適切に相談に応じ、必要に応じて専門職に確認し助言を行っている	引き続き内部研修や外部研修に参加し適切な助言や相談ができるよう取り組んでいく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		保護者会は開催していない。保護者様の希望があれば今後検討していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	迅速かつ適切に対応できるように心掛けている。相談内容によって専門職が対応できるようにしている	引き続き相談や申し入れがあった際は迅速かつ適切に対応できるように取り組んでいく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	2か月に1度事業所便りを作成し発信している	ホームページも活用し情報発信を行っていく
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	利用者様情報は個々のファイルにまとめ鍵付きロッカーで保管している	引き続き個人情報の取り扱いに十分注意していく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	電話、LINE、写真、手話、個人日誌の提示を行い情報伝達している	引き続き保護者様、利用児童に合わせた対応を心掛けていく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		コロナ禍ということもあり地域住民を招待するような取り組みは行えていない。地域の祭りなどには参加するようにしている

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	70%	30%	職員に関しては内部研修を行い周知している	今後は保護者様にも周していただけるように配布物や事業所便りを配り周知していただけるように取り組んでいく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	定期的実施している	引き続き災害に備えた避難訓練を実施し迅速に避難ができるように取り組んでいく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	毎年虐待に関する内部研修を実施。府の虐待研修にも参加している	引き続き内部研修、外部研修に参加し虐待防止に努めていく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	保護者様に確認を取り職員間で情報を共有している	今後も利用児童、保護者様と事前に話し合いを行い対応していく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	利用開始前に利用調査表に必要な情報を記入していただいている	引き続き食物アレルギーに注意し保護者様と情報共有を行っていく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	職員がいつも閲覧できるようにしている	引き続き事業所内で共有し防止に努めていく